

# 動いた土木部課長評

(一)

丹 波 浪 人

○  
 政變ある度に地方長官が動く、又夫れにつれて幹部級の部長が交迭する、是はいつもの内閣が繰返してゐる慣例であつて、今更八ヶ間敷言つて見たところでは仕方が無いとしても、近頃は其の動かされる範圍が漸々と擴がつて來て技

術官である土木部課長に迄及んで來た、この傾向が可いか悪いかを問ふやうな野暮な論は差し控えるが、夫れをしなければならぬやうに土木行政が政黨の爲に利用されることと爲つたのは默視することが出来ない、成る程、河川を改修したり港灣を修築し道路を改良することは其の地方民の

利益を齎すには違ひない、又夫れをすることは結構な政治に違ひないが、黨勢を擴張する爲に土木起業をして地方民を釣ることは慎まなければならぬ、夫れが出来ないとすれば世は土木亡國に終るであらう、土木部課長の異動さるゝのも、是等の弊害を矯正する爲に行はれたか、夫れとも亦前内閣のした夫れに對抗して行はれたかを吟味してあちこちと流れて行く土木部課長の注意を喚起するのも強ち無駄な業でもあるまい。

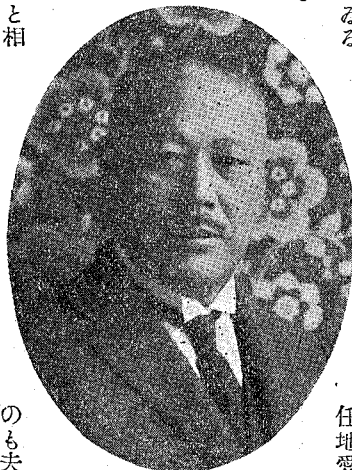
○  
此度の異動で一番儲けたイヤ當つたのは、何と言つても愛知縣土木部長を捷ち得た宮島三郎君だ、論客を以て名高かつた、あの硬骨漢、荻野廣君が、どう魔のさしたもののか人の想像もせなかつた瀆職罪の被疑者と爲つて氣の毒にも休職と爲つたので、宮島君は人も本人も豫知しなかつたらしい土木部長に爲つた、人の噂の總てを信ずる譯には行かないが、今の内務省土木局長の三邊さんが、岡山縣知事の時代に宮島君が仕えて大に忠勤を拔んでた、其の論功行賞

だと評されてゐる、併しながら宮島君が土木部長に爲つたことを夫れ程囁し立てる問題であらうか、明治四十一年に東大工科を出て香川埼玉東京乃至は石川千葉と約二十二年間も地方土木の爲に浪々の旅を續けてゐた君が、今頃に爲つて大正三年出の荻野君の後を襲ふ位のこととは人生浮沈があるにしても當然のことであるまいか、唯だ土木局長と爲つた三邊さんに宮島君の在ることを知られたのが幸運だったのである。

君は土木部課長中異彩を放つてゐる。土木主任官會議のときでも、輪廓を大きく見せやうとする連中は此處ぞとばかりに喋る、夫れに引き換えて自重組は言葉を忽にしてはならぬと力んでゐるとき、君は大きな聲で無邪氣なことを無遠慮に言つて、少々もすれば居眠り組を覺醒する。土木局のお役人はいつも理想を言はれますが、地方の實際はそんなものでは御座りませぬ、私達地方の實務に携つてゐるものは理想だけでは仕事が出来ません。と言つた調子で問題外の問題を出して人の意表外に出る、夫れが君の特長だ、

併し其の言つた言葉を後から味はつてみると、ナカ／＼穿つてゐる。誰に對しても正面的には反對しないで自分の思つてゐるところを言つてゐるのだ。『知事さん、そう仰つても私にや出来ません。』と無理な注文は、一應お断りするが、そのとき使ふ言葉は普通の人が断る言葉とは違つて何處かに人をチャームする言味が含まれてゐる。

誰でもむきになつて怒ろうとしても怒ることの出来ない魅力を持つてゐる。併しその不得要領なやうな言葉で諫言しても尙聽いて呉れないときには、知事さんの意見が自然に行はれないやうな問題を反對に持ち出して、ドー解決して呉れるかと相手方を試験するやうな目に合はず、言はゞ表では敗けて心の裡では勝つてゐる、此腹藝は若い工學士などの足許へも寄り附けない所だ。此處らが海山千年の稱ある所以であらう。



此調子だから各所を轉々しても、是が宮島さんの置土産と云ふやうな紀念的事業は何處にも殘されてゐない、夫れと同様に人に恨を買ふやうな事もしてゐない、平凡に無事に世を送り切り抜けたのが是れまでの事蹟を調べた場合、句擱んだ成績だ。

任地愛知は、政争の激甚な處だいつもの内閣は

此處の知事には所謂腕利き——政黨色の

宮 最も濃厚な人を配置して反對黨の

やつた施設を倒覆しやうとする悪

三 因習のある處だ。前内閣が昔鬼檢

郎 君 事で鳴らした小幡豊治を配したの

に對抗して此度は岡正雄を持つてゐつた

のも夫れを物語るものだ。であるから此處の土

木部長は政變ある度に換えられてゐる。宮島君の持つて生

れた狡智？ を以てしても知事さんが變れば亦變ることは

請合だが、君の手腕が昔からの歴史を引つ繰り返すだけの

力があるか見物だ。併し夫れは君が政黨的に行動するか合

理的に仕事をするかによつて解決される。岡山縣に居据つてゐたら出來た洋行も、犠牲にして赴任した以上は、今が奉公の最後として大に奮闘し三邊さんの厚意を無にしないやうに眞面目に働き給へ。

○

神奈川から兵庫へ轉じた土木部長の三輪周藏君、是も榮轉と言へば言へないことは無い、が併し神奈川と兵庫、較べて見ると兄とも弟とも言へない、海外貿易の港神戸と横濱どちらが偉いと言つた調子の兩縣だ。震災を蒙つたから今でこそ神奈川は財政に餘裕がないが、此被害が無かつたら兵庫には敢て敗けない縣だもの、左遷とも榮轉とも言ひ得ない平凡な轉任だ、君の部下は之を榮轉と言つて祝辭を述べただろうが門外漢たる老人には凡轉としか見えな

い。

府縣土木課長の向上策と言ふので課長制度を部長制に昇格したとき、誰か部長に爲つて行くだけの内務技師は無いかと、例の次田土木局長が時の第一技術課長の島重治君に

相談したものだ、ところが内務技師の地位を占めてゐて今更地方稼業をやると言ふやうな篤志家はない、そこで因果を含めて出したのが三輪君であつた、三輪君にしたつて大阪府で色々御世話になつた恩人の半強制的懇望に背く譯にも行かず、澁々ながら地方技師として神奈川縣へ行つたものだ。

君が本省勤務の内務技師と爲つたときから、生れ附きの野心？を出して、當時東大関に抑へつけられてゐた京大関の基礎を造り上げるのは今だと言つた調子で、随分人の世話を焼いてみたが、同じ役目の内務技師でも、本省に居るものと出張所に居るものとは少々違つてゐて、君が内務省大阪土木出張所に居て吉野川改修工事に従事したり大阪府土木技師をして氣儘に暮してゐるとき眺めてゐた内務省とは思惑が少々違つて、折角所望して來た内務省も俺の思つてゐた所とは大分違ふと言ふ觀念が君の東京生活を悩ましてゐた、時とき島君が神奈川行きを強請したので夫れに乗つて横濱に行つたものだ。

神奈川縣に着任して見ると、在官當時から囃し立てられてゐた、名土木課長、京大出身先輩の高田景が、人氣に投するやうな否な縣民の歡迎するやうな土木事業は根掘り葉折り總てを計畫してゐる、自分が内務省在官當時から食指を動かしてゐた蘆の湖の水力電氣事業や縣營水道事業も、經濟的に運命附けられてゐると言つた調

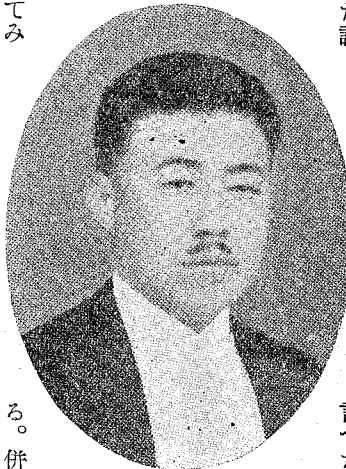
子で足も手も出ない、そこで考へ附

いたのは人心一轉策、先輩に對てし濟まなれと思つたかどうかは知らないが、高田閥を驅逐し、高田のやうな酒吞黨を一掃して陣容を整へやうとして、愛知の中學時代の

友達で何とか言ふ男を河川課長にしてみ

て權威を示したが、高田が養成した純眞技術家の平川や榊井には對抗しやうもない結局三輪君の神奈川に於ける希望は其の總てを裏切られた感があつた。

知事の池田宏さんは京大出身だから三輪君は君の理想？



京大閥の養成を實現するの希望を達しやうと劃策したに違ひない、知事も始めの内は好感を以て君を迎へたやうであつたが、何と言つても池田さんは數年間内務省土木局書記官として三輪君の先輩、大先輩を相手に行政に携つた苦勞人、若手の三輪君の意見などは十年も前に知つてゐると

言つた調子と爲つて來た、夫れは池田さんが退

官數月前に或る呢察者に、三輪と言ふ男

三 は一體どんな人間かと聞いたと言

輪 ふ位に兩氏の間は疑雲の裡に包ま

周 れるやうに爲つた。夫れと言ふの

君 も鶴見川尻や逗子海岸の埋立問題

で池田さんを窮地に陥らしめたからであ

る。併し是等は三輪君一人の罪ではないにして

も、京大出身の池田氏を大成せしむる眞意があつたならば、

喜三郎内相の乾分と言はれてゐる難波や豊島長吉が、内務

警察兩部長として反池田的態度を採つてゐることに鑑みて

三輪君が善處すべきであるのに、徒に彼等の尻馬に乗つて

純眞な池田知事を誤らしめた感がある。

斯ふ言つて來ると土木部長としての三輪居の行動を扱き下したやうだ、ナニそんなことを言へば本會の會員が減るつて、減つても構はないぢや無いか。是も君の將來の爲に言ふ苦言だ、言はゞ親切で言ふのだ、今回の轉任も犠牲者池田さんのお蔭で君に同情が注がれた結果に外ならない。君の行く先兵庫の知事は高橋守雄だ、池田のやうに純官人として育つた人ではない、言はゞ政界千軍萬馬の間を馳驅した苦勞人だ、學閥維持と言つたやうな小問題で君の言を信用するやうな男ではない、君も此度の此處を戒心すべきイヤ改心すべき好時機であらう。

戒心やら改心、夫れは、從來君が辿つて來た學閥の養成やら、前任者田邊君が養成した技術官を誡首して威力？を示すと言ふやうな小さな料見を、あの洋々と流れてゐる加古川にでも流してしまつて、高橋知事の意見に徒に盲従することなく、政治技師なんてニツクネームを蒙らないやうに公平に維持して土木行政を執行することだ。そうすれ

ば今回の異動も滿更意義を失はないだらう。

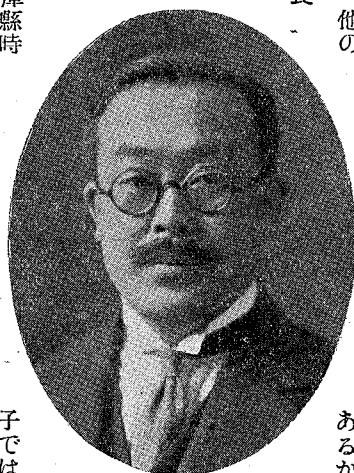
○  
兵庫と神奈川が入換えと爲つて神奈川へ來た田邊良忠君さぞ花隈あたりの美形が惜んだことであらうが、是も前知事の長さんに半分可愛がられ、イヤ半分嫌やがられもつて、長さんの手足と爲つて働いた酬だ。「俺は政友會内閣の任命した知事だ、俺の行動に反對な人はドシ／＼罷めて貰ひたい、俺の嫌な奴はドシ／＼誡首する。」と言つたかどうかは保證の限りでないが、此調子の知事さんに仕えたのは詰り君の不仕合せだつた、假令官吏が上官に對する忠實義務を負ふてゐるにしても、反抗の權利が認められてゐない現在では、御命令とあらは違法のことでも遵奉するより外に途は無い譯だ、夫れを長官と共謀してやつたやうに兎や角言はれる世の中だから君の轉任も仕方が無いとして諦めるより外無からう。

併し世事は觀方に依つてはドーとも諦めがつくものだ、君が明治四十三年に京大を出て、大正八年滋賀縣土木課長

と爲るまでは、土木技術の現場従事員として京都や名古屋の市役所に勤め氣勢餘り擧がらなかつた。唯だ夫れが普通の土木技術の現場の事情に精通するやうに爲つた賜であるにしても、餘り香しからぬ生活に在つたものだ。夫れが滋賀縣土木課長と爲つて、夫等の仕事を指揮監督するやうに爲つてまだ十年にもならないのに、他の

連中をさし置いて昭和二年土木部長に爲つたのは、假令君の行政的手腕に待つ所あつたにしても、他の同期生に比較すると、出世の早い方で、今神奈川行きを夫れ程迄に悲觀するに及ばないであらう。

行く先神奈川には、君が會て兵庫縣時代に仕えた山縣さんが知事をしてゐる、是も復活組の知事のことだから長さん程に露骨なことほしないにしても大同小異的に縣政を執行するに違ひはない、で君は不相變夫れのお先棒に使はれるであらうが、併し兵庫縣時代のこと



想到して尠しは自己確信の實現に力めるのが肝要だ、何事も西洋かぶれして洋行して來た人間でなければ話し相手にならぬと變な確信を持つてゐる山縣さんでも、君が米國に行つてきた其の經歷に對して兵庫縣時代とは少しは禮遇して呉れるであらう、夫れが君に探つては何よりの幸だ、であるから兵庫時代のやうに内務省の古手官吏を

港灣や河川の顧問技師に雇つて君を監視田 するやうな無駄なことはしないで  
邊 あらう、安心して部長としての手腕を發揮するが可い、併し内閣が  
忠 變れば首が飛ぶ知事の下だ、官吏  
君 變れば首が飛ぶ知事の下だ、官吏の服務規律を忘れて唯命從是と言つた調子では君の前途を壓迫する、唯だ夫れを考へ少しは前途を見定めて活動し給へ。

○ 酬ひられない男、夫れは三重から岡山に轉じた田中三郎君のことだ、今頃になつて岡山の片田舎へ落ちて行く人で

はない、コー言ふと何だか彼を擔いでゐるやうだが、彼の眞價を知るものは何人も夫れを否定しないであろう、と言ふのは、君が明治三十九年に東大工科を出たと言ふやうな官僚的な判断に依らなくつても、彼が大學を出て東京市役所に入り比較的地味な仕事と言はれてゐる

水道や下水道の仕事に十有一年間も従事し、帝都の保健衛生工事に相當の成績を挙げたことに依つて夫れを知ることが出来る、官吏と爲つて山形縣土木課長やら愛知縣土木課長としても我が土木行政の爲に随分盡した、夫等の功績に對しては當然酬ひらるべきであつて、愛知縣時代には當然土木部長に爲るべきであつたが、今の大阪府知事の柴田善三郎が知事に爲つて來て曾て福岡縣知事時代に肝膽相照したかどうかは知らないが、顏馴染の澁江武君を取る爲に君を三重に追出してしまつた、で彼が酬ひられない男と言はれるのだ。



愛知縣の土木部長を人に盜られて三重に行つた彼は、人が同情して想像する程の不平も言はない、課長から部長にならうが、なるまいが、そんなことには一向頓着なしに、三重の土木行政も天が俺に與へて呉れた天職と心得たかは保證の限りでないとしても、兎に角例の山岡知事時代からの懸案であつた木曾揖斐長良

田の三大川の架橋に骨を折つた、關係住民を説服して架橋期成同盟を組織せしめて愛知縣へ架橋の陳情をなさしむるやら、道路改良費繼續豫算を繰上げるやらして、遂に政府が天れに補助をすと言ふ所まで漕ぎ附けたが、

彼が思はなかつた内閣の交迭に依つて折角の計畫も、消煙霧化せむとするとき岡山へ轉ずるのは、嘸殘念であろう、併し君の盡し功勞の達成する時機が必ずや來るに違ひない、無駄骨折りと云つて決して悲觀するには及ばない。

彼は呑めば天下を取つたやうなことを言つて政治談もや



れば踊りもする、で彼を田舎政治家と評する人もあるが、新宮川を隔て、相對する和歌山や木曾川を隔て、對立する岐阜や愛知の道路と、彼が管掌した三重の道路とを比較すると田中君の技術的手腕の程が表はれてゐて、彼が政治家的技術官でないことが窺はれる。若し彼が評者のやうな男であつたならもつと先きに出世してゐる筈だ、拓務省が出來たときも同省の勅任技師として懇望されたにも拘はらず夫れを斥けて三重に留るやうなことをしない筈だ。

岡山は比較的難治の縣と言はれてゐるが、宮島君が榮轉組の人と爲つた位の縣だ、詰り宮島君をして出世せしめた位の縣だ、君の技術的手腕と人間味力とを以てすれば此位の縣の土木行政は蓋し朝飯前の仕事であろうと、言ふ程、田中君の岡山行きは人の力と政治の對照が不釣合だ、併し人間の力は往々にして社會に認められないで終るものがある君の力も三大川架橋に盡した功績と同様に、いつかは認められる時機が來るに違ひない、切に自重を祈つて已まない。

○

齋藤秀夫君の山梨から三重への轉任、是は榮轉と言つて可いだろう、併し君と同じ大正三年東大工科出の連中には、内務技師と爲つて所謂大家振つてゐる三浦君や佐藤君が居るから、今頃になつて三重縣位の土木課長に爲るのは當然で榮轉組だと威張るだけの價値は無い譯だ。夫れと言ふのも君が大衆を出ると直ぐ官途に就けば可いのに松山市の技師や愛知縣工師と言つたやうな横道を辿つてゐた勢だ、始めから官途に就いてゐたら今洋行してゐる中川福島位の程度には進展してゐるであらう。そう思ふと、同じ動かすのならモー少し可い地方へ動かしても世の非難はあるまい。

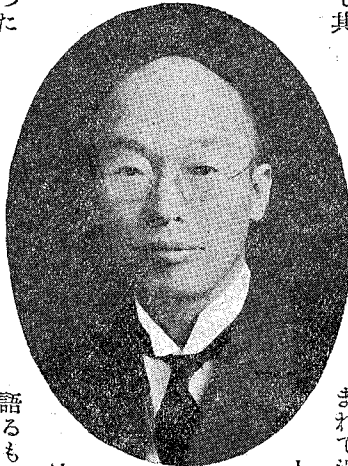
山梨では今の内務省土木局長の三邊さんにも仕えた筈だ宮島君のヌーボー式がお眼鏡に叶つて稍や眞面目な君が重視され無かつたのは不思議にも思はれるが、夫れも君の斗酒尙辭せずと言ふ酒豪振りが祟つたのかも判らぬ、實際君の呑み振りは君の同年輩の夫れとは違つて、呑む終期がいつやら判らぬことだ、詰り相手があればいつ迄でも呑み続ける、是がヌーボー式よりは悪いと見られたものではあるま

いか。併し人は考へやうに依つてドーとも諦めが附くもの  
だ、と言ふのは君の前任者渡邊君が、矢張り君以上の酒家  
でトウ／＼呑んでゐる間に死んでしまつた、其の後を襲ふ  
た君も同じ経路を辿るのでは無いかと、親友の氣を揉ませ  
たものだが、幸に夫れが杞憂に終つて其

の厄にも遭はず山梨を出て行くのは、  
或は幸福と解しても可いであらう。

併し山梨縣では呑むことも呑ん  
だが良く働いた、一時は内務省が  
直轄施行してゐる天龍川改修工事  
の設計に茶々を入れ反對したイヤし  
ないと言つて問題を起したこともあつた

が、直轄工事連の誤解もあつて夫れも圓く收まつた。併し  
其の位のことでは遣り兼ねない覇氣のある男だ、夫れが齋藤  
君の取柄として認めてやらなければならぬ點の一つであら  
う。山梨縣は政友會の大御所、若尾系の發祥地否な起業地  
であつて、東京電燈の發電所が數えられ無い程澤山ある、



是等を中心にしていつも縣下の土木問題が渦巻くのである  
が、之を處置して行くだけでも一通りの骨折ではない、夫  
れに以前長官として崇めた本間利雄等が會社側にあるて、君  
の行動を監視してゐると言つた調子で内からも外からも睨

まれて遣り悪い、政友會内閣の時などは縣内の

小問題までが中央に持ち出されて彼是れ

齋 言はれるので、土木課長の勞苦も

藤 一通りでは無かつた、君の頭が加

夫 速的に禿けたと評されたのも無理

君 は無い、併しトウ／＼之を切り抜

けたのは君の手腕が非凡であることを物

語るものであらう。

行く先、三重には神都が在る、若尾一派の政友系は酒を呑  
んでゐても御せたが、神様の尊嚴に對しては同じ様には行  
かぬ筈だ。御神酒をあがらぬ神様は無いから、君の生れつき  
好きなるものを罷めよとまでは言はぬが、モー少し節酒して  
永年問題と爲つてゐる木曾川架橋でも實現して呉れ給へ。